

2018.03.02

InterRisk Thai Flood Report <2018 No.1>

タイの洪水関連情報

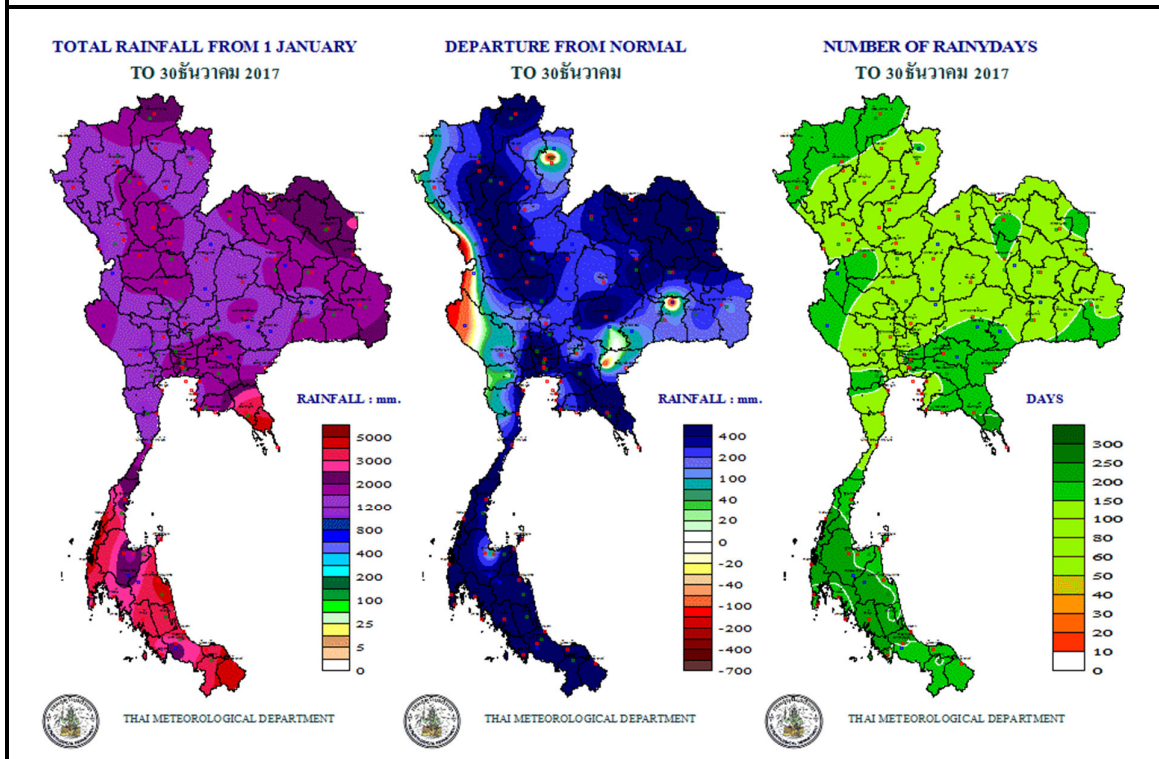
2017 年の降雨・洪水概要

- ✓ 2017 年は雨季以外の季節にも継続して降雨があったことなどから、1 年間の平均降雨量は平年を 27% 上回りました。
- ✓ タイ南西部では特に降雨量が多く、いくつかの地域で洪水が発生しました。
- ✓ TALAS、SONCA、KHANUN などの台風も襲来し、1 年間の総降雨量は大洪水が発生した 2011 年と同程度にまで達しましたが、ダムの貯水量や河川水位が適切に管理された結果、深刻な影響は生じませんでした。

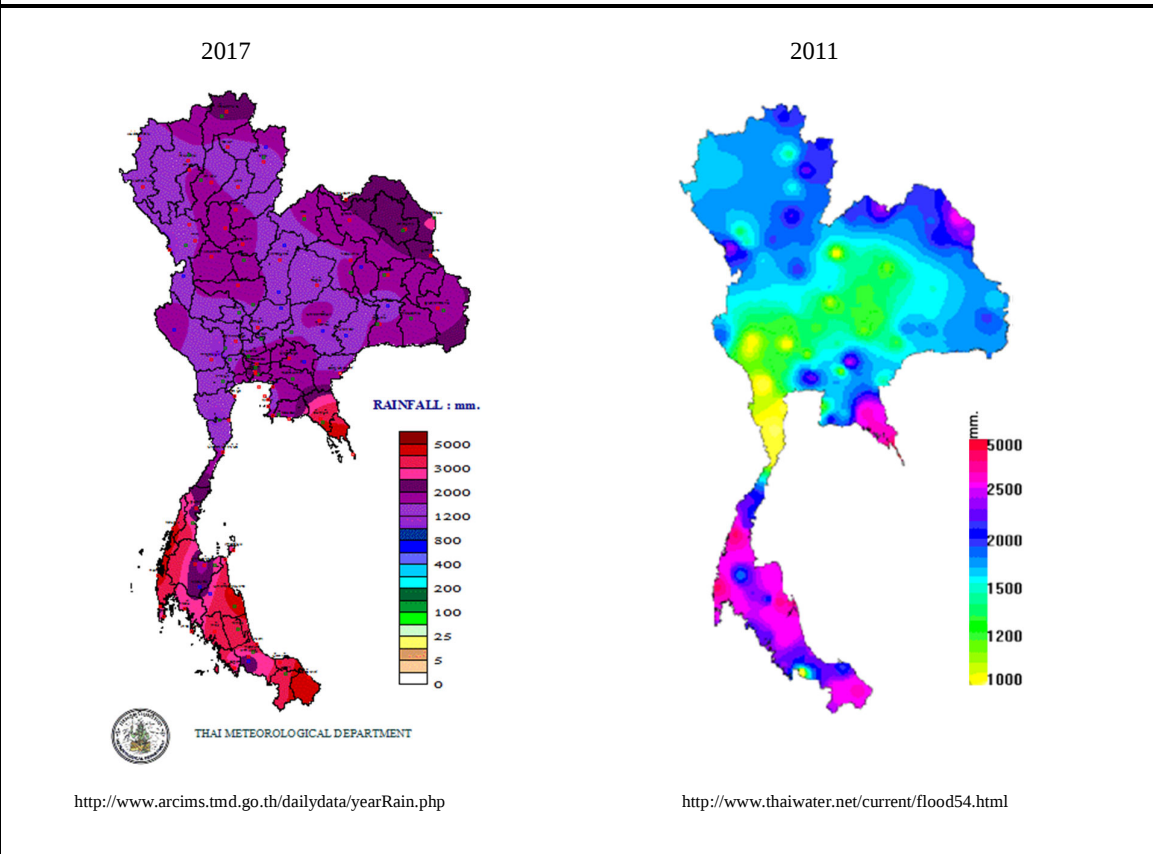
2018 年の予測

- ✓ タイ国水文・農業情報機構（Hydro and Agro Informatics Institute）によれば、2018 年も平年を上回る降雨量となることが予想されており、雨季も平年より早まる見込みです。例年は 5 月中旬頃、雨季に入りますが、今年は 4 月末または 5 月始めから本格的な降雨が始まる可能性があります。
- ✓ 降雨のピークは、季節風やラニーニャ現象の影響を受ける 8 月～9 月と予測されています。
- ✓ 1 年を通した降雨量は 2011 年より少なく、2017 年と同様の水管理によって深刻な洪水被害は回避できる見込みですが、Yom 川流域、Nan 川流域およびタイ東部、南部では大雨による影響が生じるおそれがあります。

2017 年の年間降雨データ

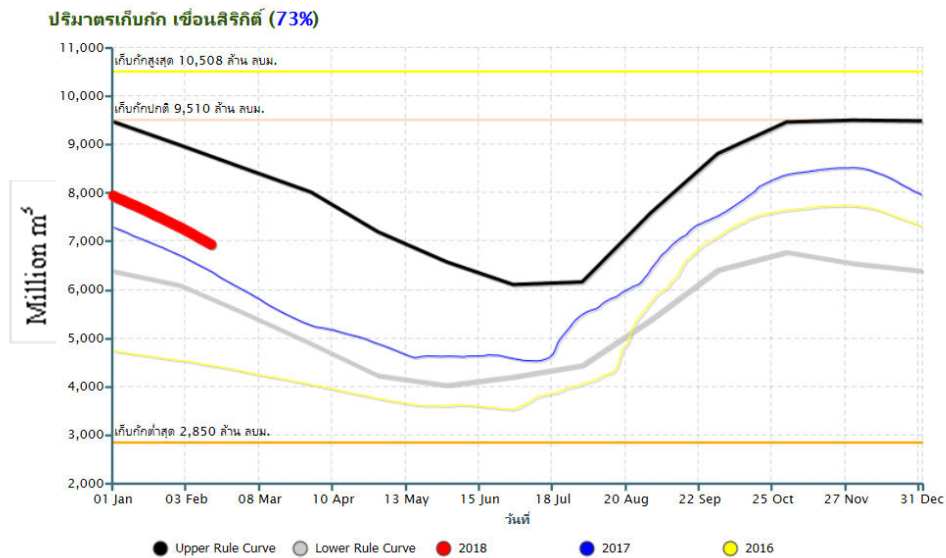


2017 年と 2011 年の降雨比較

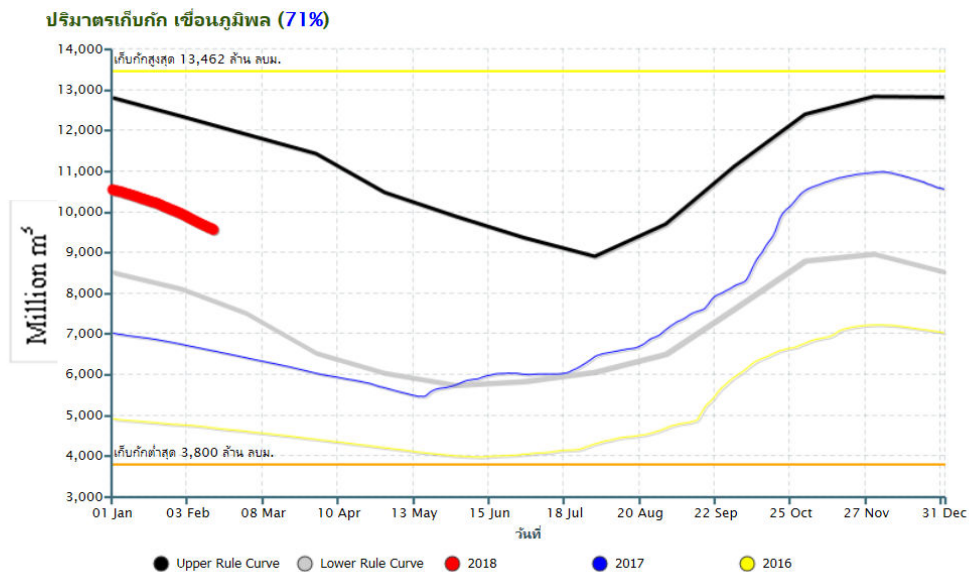


2017 年（1 月 1 日～10 月 31 日）のタイ全国における平均総降雨量は 1,711mm であり、2011 年（同期間）の 1,798mm とほぼ同程度の降雨量でした。タイ政府は 2011 年の大洪水以降、洪水対策に注力しており、適切な水資源管理計画によって、2017 年に発生した洪水被害は限定的な範囲・程度にとどまりました。

貯水量：Sirikit ダム

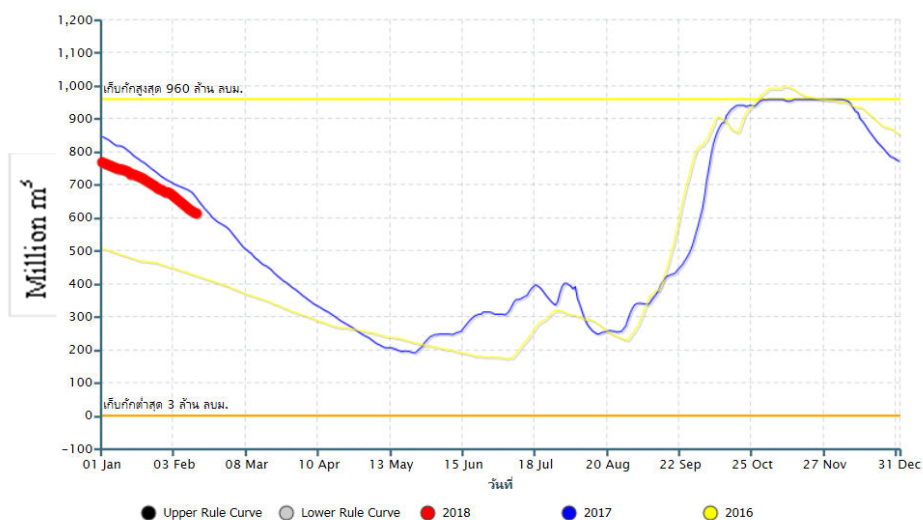


貯水量：Bhumibol ダム

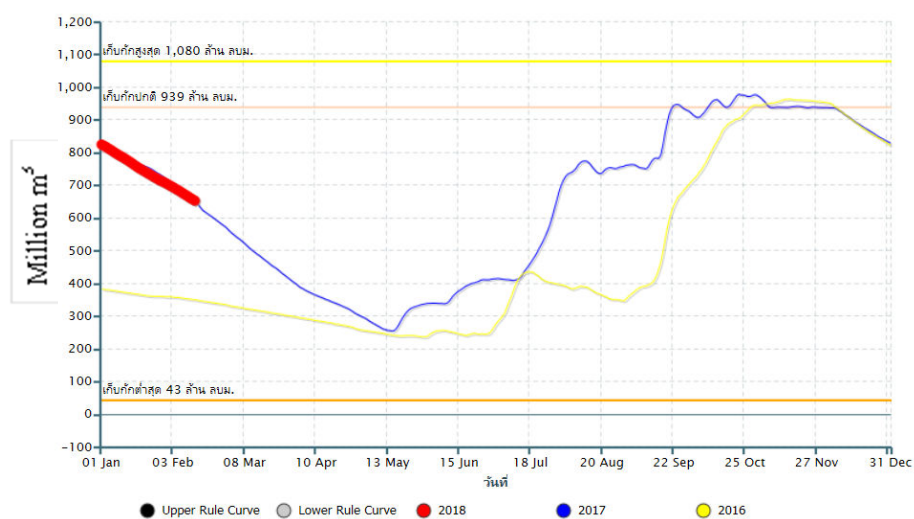


現在、タイは乾季に入っており、Sirikit ダム、Bhumibol ダムともに貯水量が低下しています。しかし、上記の赤線が示す通りそれぞれの貯水率は70%以上であり、深刻な干ばつが発生した2016年の2倍以上の貯水が確保されています。

貯水量：Pasak ダム



貯水量：Kwaenoi ダム



Pasak ダム、Kwaenoi ダムともに 2017 年の同時期とほぼ同程度の貯水量であり、干ばつが発生する可能性は低い状況です。

チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム上流）

いずれの観測地点も”Normal（洪水危険なし）”の状態です。

Water Situation in the Chao Phraya River

13th February 2018

6:00 a.m.



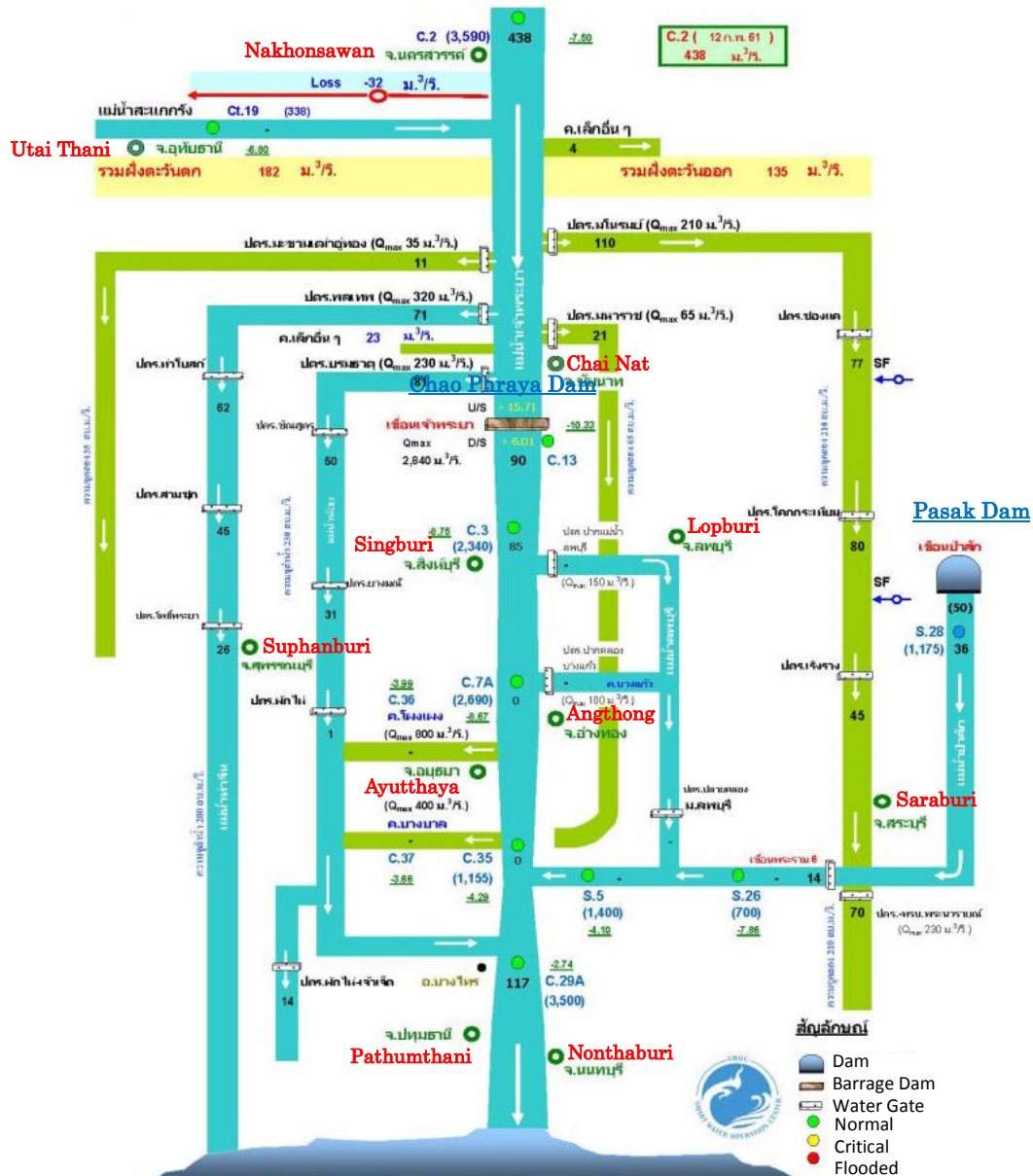
【備考】

- ①河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量（m³/sec）
- ②上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量（①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生）
- ③上記②に付随する「アルファベット+数値（例：N.67）」：観測所の名称
- ④緑文字・－（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0 になった場合、洪水が発生）

チャオプラヤ水系の河川水位（チャオプラヤダム下流）

いずれの観測地点も”Normal（洪水危険なし）”の状態です。

Water Situation in the Chao Phraya River
13th February 2018 6:00 a.m.



【備考】

- ①河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量（m³/sec）
- ②上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量（①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生）
- ③上記②に付随する「アルファベット+数値（例：N.67）」：観測所の名称
- ④緑文字・－（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0 になった場合、洪水が発生）

InterRisk Asia (Thailand) Co., Ltd Engineer Mr. Sutiwat Prutthiprasert

参照

<https://www.prachachat.net/general>

<http://www.arcims.tmd.go.th/dailydata/yearRain.php>

<http://www.thaiwater.net/current/flood54.html>

http://www.thaiwater.net/DATA/REPORT/php/rid_lgraph3.php?dam_id=19

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_low.php?cal2=13022018

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_up.php?cal2=13022018

<https://www.thairath.co.th/content/1108122>

<https://www.tmd.go.th/climate/climate.php?FileID=5>

株式会社インターリスク総研は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

(株)インターリスク総研 総合企画部 国際業務グループ

TEL.03-5296-8920

<http://www.irric.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立された MS&AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等における火災リスク調査や洪水リスク評価、ならびに交通リスク、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.

175 Sathorn City Tower, South Sathorn Road, Thungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120, Thailand

TEL: +66-(0)-2679-5276

FAX: +66-(0)-2679-5278

<http://www.interriskthai.co.th/>

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。
また、本誌は、読者の方々に対して企業の CSR 活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright 株式会社インターリスク総研 2018